

飯 尾 潤 教授

役 職：政策プロフェッショナルプログラム・ディレクター、公共政策プログラム（修士課程）・副ディレクター

専門分野：政治学・現代日本政治論

学 位：博士（法学）、東京大学

略 歴：1986年東京大学法学部卒、1992年同大学院法学政治学研究科博士課程修了、同年埼玉大学大学院政策科学研究科専任講師、1993年同助教授、1997年本学助教授、2000年本学教授（現在に至る）。2001-02年ハーバード大学客員研究員。2009-11年本学副学長。

1. 業 績（A）

（1）学会発表

- * 「日本における政策過程の変容と政策分析：どちらにしても活用されないままなのか」日本公共政策学会 2016年度研究大会（日本大学法学部）、2016年6月12日（査読付き）

2. 業 績（B）

（1）書評・解説等

- * 解説：「政策論議の深化と参議院の役割」『経済のプリズム』150号、2016年6月、参議院事務局企画調整室

3. 助成金等による研究

- * 科研費（基盤研究 B：16H03586）「東日本大震災における復興の総合的研究：まちの復興、生活の再建、生業の復活を中心に」（2016-2018年度）研究分担者
- * 科研費（基盤研究 B：16H03579）「商工・通産・経産省の政治的機能の解明による昭和・平成期の統治構造転換への総合研究」（2016-2018年度）研究分担者
- * 科研費（基盤研究 S：15H05727）「政策情報のユニバーサル化・国際化に関する実証と実践」（2015-2019年度）研究協力者

4. 教 育

（1）講 義

- * 政策過程論（春学期）
- * 事例研究方法論（夏学期）
- * 社会科学方法論＝質的分析（秋学期）

（2）演 習

- * 政策過程論特別演習（春学期）

（3）論文指導

- * 政策プロフェッショナルプログラム：博士課程6名（主指導5名：うち2名学位取得、副指導1名）

5. 管理・運営への関与

(1) 委員会

- * 研究教育評議会
- * 博士課程委員会
- * 政策プロフェッショナルプログラム（博士課程）・コミティー
- * 公共政策プログラム（修士課程）・コミティー

(2) その他

- * 政策プロフェッショナルプログラム・ディレクター
- * 公共政策プログラム（修士課程）・副ディレクター

6. 社会的貢献（A）

(1) 国および地方公共団体における活動

① 審議会等

- * 国土交通省・社会資本整備審議会委員、同計画部会委員、交通政策審議会交通体系分科会臨時委員、同計画部会委員
- * 内閣府防災担当・「防災 4.0」未来構想プロジェクト懇談会委員（2016年6月まで）
- * 国土交通省都市局・都市計画基本問題小委員会委員（2017年1月から）

(2) 他大学・研究所等における活動

① 非常勤講師，研究員等

- * 放送大学客員教授（「現代日本の政治」）

(3) 企業，財団法人等における活動

① 役員，委員会

- * 公益財団法人サントリー文化財団・地域文化賞選考委員

② その他

- * 研修講師「政策課題の激変と議会の新たな役割」（市町村議会議員特別講座）市町村職員中央研修所、2016年10月26日および27日

(4) 学会等における活動

① 役員，委員

- * 日本公共政策学会理事（2016年6月まで）

7. 社会的貢献（B）

(1) ジャーナリズムを通じた発言

① 印刷メディア（新聞，雑誌等）

- * 講演紹介：飯尾潤「同日選は野党の苦境救う」『信濃毎日新聞』2016年4月23日4面
- * 発言引用：“Abe’s ‘hidden’ agenda in spotlight for all sides”, The Japan Times, pp.1,3, June 23, 2016
- * 評論：飯尾潤「参議院は『良識の府』となれるか」『潮』2016年8月号、2016年7月、潮出版社
- * 発言引用：“Election strengthens LDP as opposition flounders”, The Japan Times, p.1, July 11, 2016
- * 座談会：飯尾潤、坂東真理子、小林喜光「与党大勝を語る」『讀賣新聞』2016年7月12日

日、朝刊 14-15 面

- * インタビュー記事：飯尾潤「威勢よい政権に抵抗感」（どう読む与党 1 勝 5 敗）『河北新報』2016 年 7 月 15 日朝刊 2 面
 - * 講演紹介：飯尾潤「改憲勢力、すぐは動かず」『山形新聞』2016 年 7 月 29 日朝刊 3 面
 - * 講演記録：飯尾潤「与野党の政策と選挙態勢」『経済倶楽部講演録』No.811、2-53 頁、2016 年 9 月、東洋経済新報社
 - * 時事解説：飯尾潤「民主党新代表選出：党勢拡大に三つの課題」（共同通信配信）『福井新聞』『秋田さきがけ』『熊本日日新聞』『東奥日報』『南日本新聞』2016 年 9 月 16 日、『高知新聞』9 月 18 日、『岐阜新聞』9 月 25 日
 - * 講演紹介：飯尾潤「安倍政権 年末に大勝負」『西日本新聞』2016 年 9 月 30 日
 - * 発言引用：「区割り審に意見提出：識者は『不平等』と疑問視」『長崎新聞』2016 年 11 月 16 日
 - * 随筆：飯尾潤「作品解説の楽しみと課題」『NACT Review 国立新美術館研究紀要』第 3 号、277-278 頁、2016 年 11 月、国立新美術館
 - * 時評：飯尾潤「熊本城から文化財修復連携システムを」『アステイオン』85 号、150-153 頁、2016 年 11 月、CCC メディアハウス
 - * 講演紹介：飯尾潤「安倍政権の行方」『政経特報』1462 号 1-3 頁、2016 年 12 月、西日本新聞社
 - * 発言引用：“Abe seen unlikely to call snap poll”, The Japan Times, pp.1-2, January 3, 2017
 - * 講演紹介：飯尾潤「今年の政治展望」『福島民報』2017 年 1 月 27 日朝刊 3 面
 - * 講演紹介：飯尾潤「総選挙『年内は困難』」『熊本日日新聞』2017 年 2 月 22 日朝刊 5 面、『熊本日日新聞』2 月 24 日朝刊 4 面（詳報）
 - * 発言引用：「人口減 福島から考える」『新潟日報』2017 年 3 月 6 日
 - * 講演紹介：飯尾潤「解散『任期満了近く』」『茨城新聞』2017 年 3 月 9 日
 - * 書評：飯尾潤「曾我謙悟『現代日本の官僚制』：統治の質高いが代表性欠く」『日本経済新聞』2017 年 3 月 18 日
- ② 電波メディア（テレビ、ラジオ等）
- * 録画放送：“Who can best serve Tokyo as Governor?”, Singapore TV, 22 July 2016
- (2) 講演会、座談会、会議出席
- * この間十数回の講演会・座談会などを行った